

© 創通エージェンシー・サンライズ

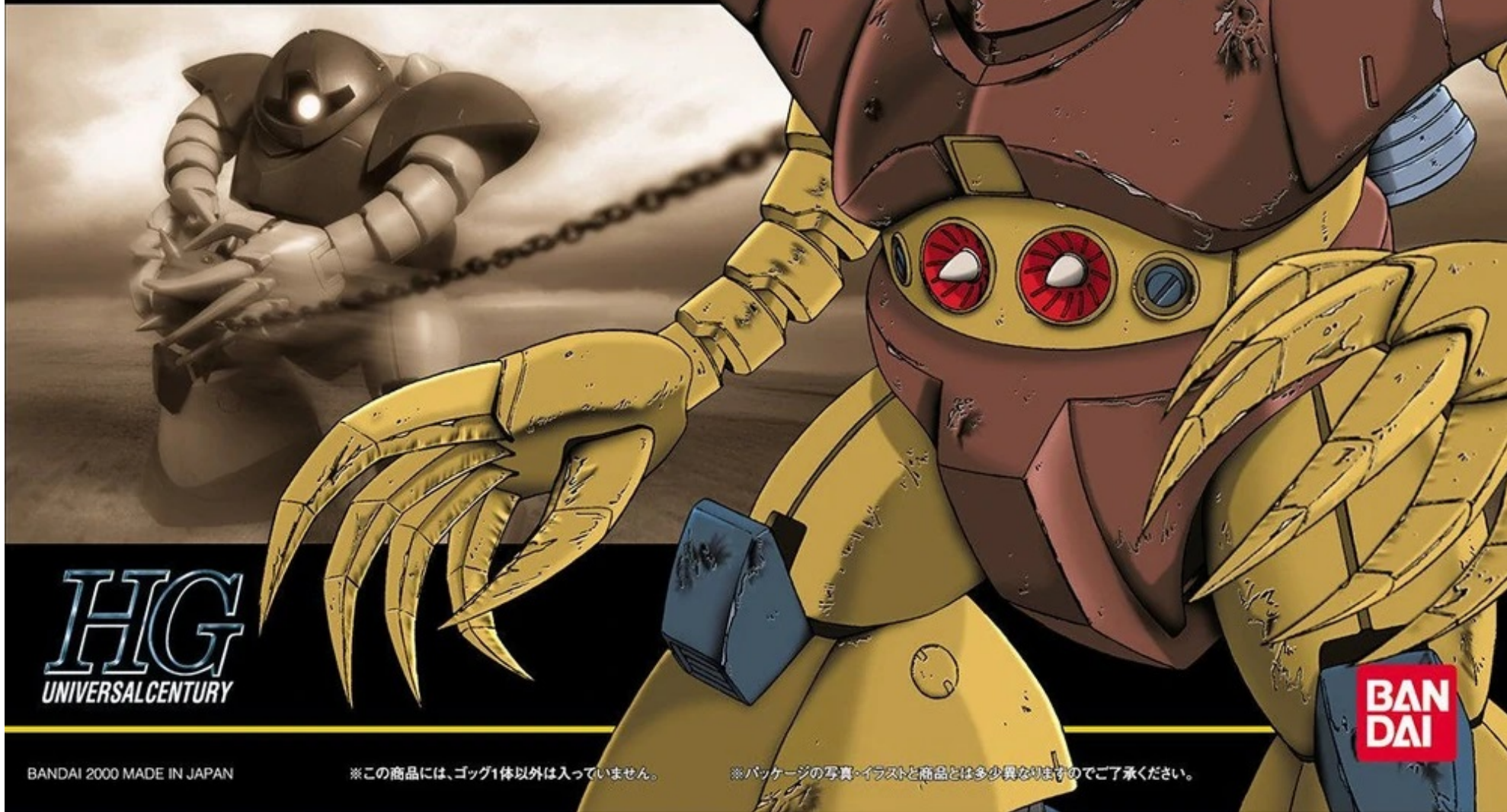
Illustrated by MASANORI SHINO

MSM-03 'GOGG'

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCE



MODEL NUMBER : MSM-03 TOTAL HEIGHT : 18.3m WEIGHT : 82.4t TOTAL WEIGHT : 159.4t
GENERATOR OUT PUT : 1740kw THRUSTER GENERAL OUT PUT : 121000kg
UNDERWATER MAX SPEED : 75kt MATERIAL : SUPER HIGH TENSION STEEL
ARMAMENTS : FREESEY YARD MEGA-PARTICLE GUN×2 TORPEDO×2 IRON NAIL×2



HG
UNIVERSALCENTURY

**BAN
DAI**

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

※この商品には、ゴッグ1体以外は入っていません。

※パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。

MSM-03 'GOGG'

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTION TYPE AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : MSM-03

© 1985 エンタープライズ

TOTAL HEIGHT : 18.3m

WEIGHT : 82.4t

TOTAL WEIGHT : 159.4t

GENERATOR OUT PUT : 1740kw

THRUSTER GENERAL OUT PUT : 121000kg

UNDERWATER MAX SPEED : 75kt

MATERIAL : SUPER HIGH TENSION STEEL

ARMAMENTS : FREESEY YARD

MEGA-PARTICLE GUN X2

TORPEDO X2

IRON NAIL X2



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

www.bandai.net

Scanned by Dalong.net

BAN
DAI

MSM-03 "GOGG"

公国軍は、宇宙世紀0079年2月の“地球機取作戦”の決定を待って水陸両用MSの開発に着手した。公国軍が開発した水陸両用MSは、空間及び陸戦用の標準的な機体と比べ、単純計算で2~3倍のジェネレーター出力を持っている。これは水冷構造などを取り入れた新たな冷却システムが開発されたことによって可能となったもので、初期の計画では、06系の機体を改修して水陸両用機として運用するという構想もあったのだが、実際に建造されたMS-06Mザクマリントタイプは、いわゆる水中巡航機として実際に運用できるものではなかったため、全く新たな観点から水陸両用MSが開発されることとなり、MSMというカテゴリーが設けられた。第1期水陸両用MSとして開発されたゴッグは、すでにビーム兵器の搭載を達成しており、投入当

初よりその性能を遺憾なく発揮した。公国軍が水陸両用MSを効果的に運用できたのは、海上戦力の展開のかなり初期の段階で潜水艦隊を編成できたからである。ゴッグは、反応炉の冷却システム上の制限により、陸戦での稼働時間は短かったといわれており、本来は単独（あるいはMSのみによる部隊）での運用が想定されていた水陸両用MSの支援装備の開発が急務となった。そこで浮上したのが潜水艦隊とのコンビネーションである。この運用法は、潜水艦の攻撃能力を高めたのみならず、水陸両用MSの展開にも有利に作用し陸機取作戦などにおいて威力を発揮した。

コクピットハッチ

魚雷発射装置

メガ粒子砲

フレキシブル・ペロウス・リム

アイアンネイル

ゴッグの近接戦闘用武装兼簡易マニピュレーターとして機能する。機体運用上、オプションの携行が困難であったため新鋭兵器の代替案として装備された。実際においては防弾用装備としても非常に有効に機能した。巡航時は腕部が収納し、肩アーマーと一体化することで機体効果を得ることが可能。

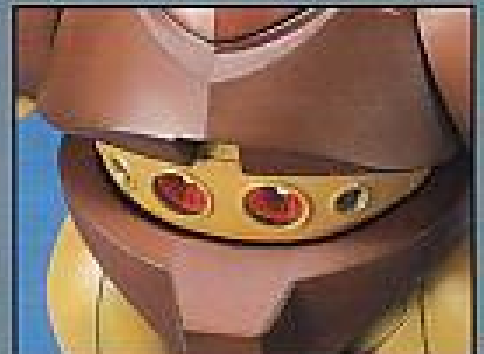
SPEC

型式番号：MSM-03
 頭頂高：18.3m
 本体重量：82.4t
 全機重量：159.4t
 ジェネレーター出力：1740kw
 スラスター総推力：121000kg
 水中最高速度：75kt
 装甲材質：超鋼強力鋼
 武装：フリージャーード、メガ粒子砲×2、魚雷×2、アイアンネイル×2



▲推進装置 基本的には他の機体と同様、機体各部に設けられたインテークから取り入れた海水を高圧で噴出するハイドロジェット及びロケット、またはウォータージェットによって巡航する。フリージャーード稼働中は取水口を閉鎖する必要があるため、可能な限り速やかに機体部を離脱し、詰めとった機雷などを除去、投棄する必要がある。

▼フリージャーード 敵射された機雷や爆雷などの信管が作動するのを防ぐ防護装置。頭頂部から射出される弾頭には特殊な高分子化合物が充填されており、射出された弾頭は自機の前方で展開し、海水を取り込んだゲル状の保護層となって機体を含み込む。万一爆発したとしても、防護層の作用で機体損傷は軽微で済み、一説には爆気機雷の作動も防衛できたとされている。



▲メガ粒子砲 ゴッグは熱核反応炉の冷却に水冷構造を採用したため、他の機体に先んじてメガ粒子砲を装備することが可能となった。ただし、機体に二門の機雷武装とされたため取り回しが困難であったとも言われている。

水中巡航形態 (フロントビュー)



戦闘状態 (アクションポーズ)



水中巡航形態 (ボトムビュー)



リアビュー



COLOR GUIDE

- よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご購入ください。
- ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 本頁の完成図は、塗装してあります。
- このキットを、よりリアルに塗装したい方は、ガンダム産業より発売のガンダムカラー (HG「ゴック」用、その他カラーセット) をお買いください。

●本体:

ココアブラウン (90%)
+ホワイト (10%)
※または、ガンダムカラー
ブラウン1

●腕、脚等:

クリームイエロー (70%)
+カーキ (30%)
※または、ガンダムカラー
オーカー2

●バックパック:

エアクラフトグレー (80%)
+ブルーグレー (40%)

●メガ粒子銃、バーニア:

モンザレッド (100%)
※または、ガンダムカラー
レッド1

●メガ粒子銃内突起:

ホワイト (100%)
※または、ガンダムカラー
ホワイト1

●足首、ヒザ、肩等:

ネービーブルー (70%)
+ブラック (30%)
※または、ガンダムカラー
グレー5

⚠ 注 意

必ずお読みください

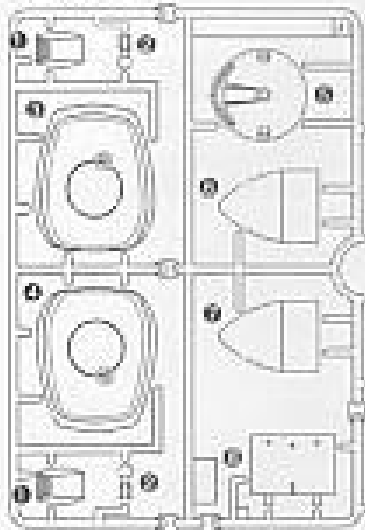
- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

(組み立てる時の注意)

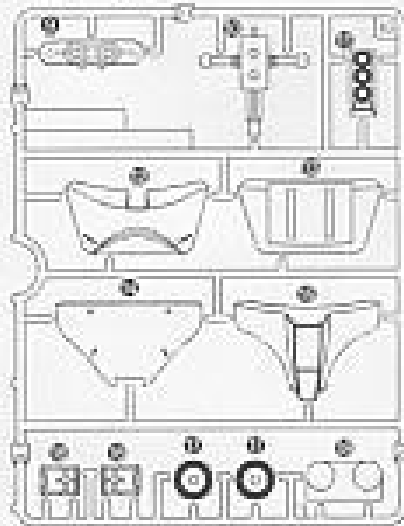
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト

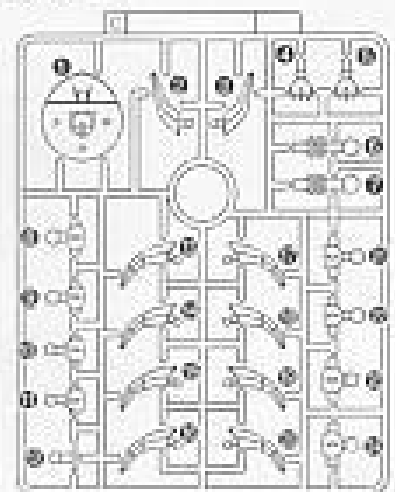
A1パーツ



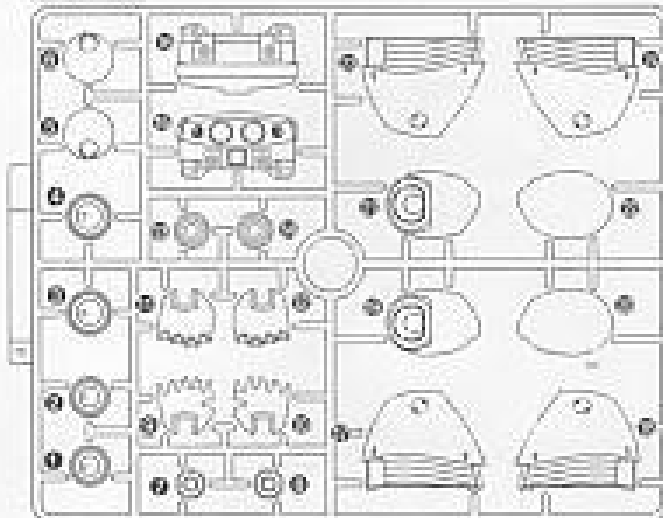
A2パーツ



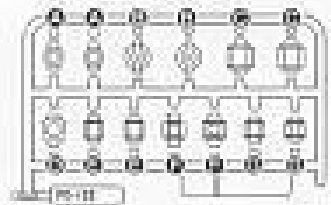
Cパーツ



Bパーツ



〈P.C-123〉



●シール…1

(お買い上げのお客様へ)

部品をこわしたり、なくした人には実費にてお分けします。「部品注文カード」に必要な部品の記号・番号・数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき下記までお申し込みください。代金は、部品代(1個40円×個数)+郵送料(120円)です。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、両品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒424-8735 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315

部品注文カード

75573-800

1/144 SCALE HG
MSM-03 ゴック

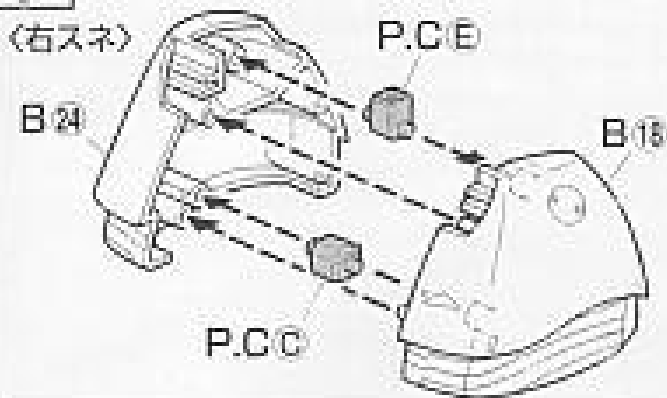
必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された部品(○)で囲む(じりしたなくした)

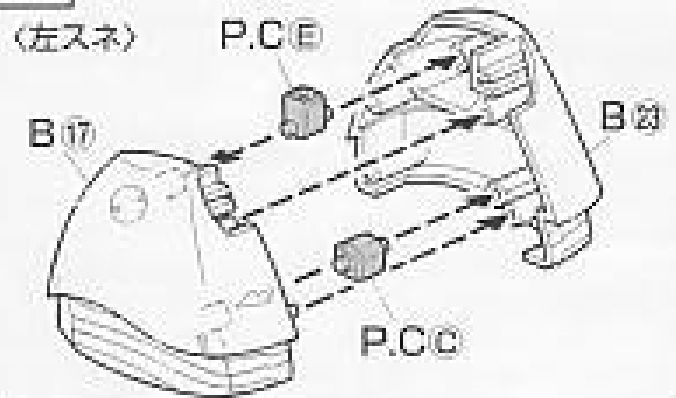
部品の注文は「定額小為替」でお願いたします。

003

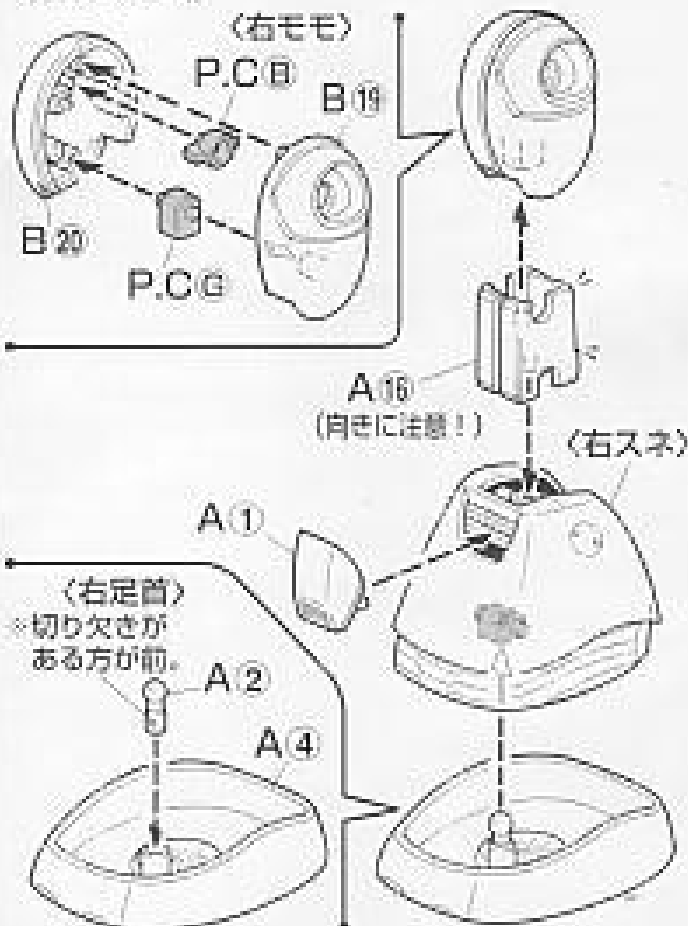
1 (右足の組み立て)



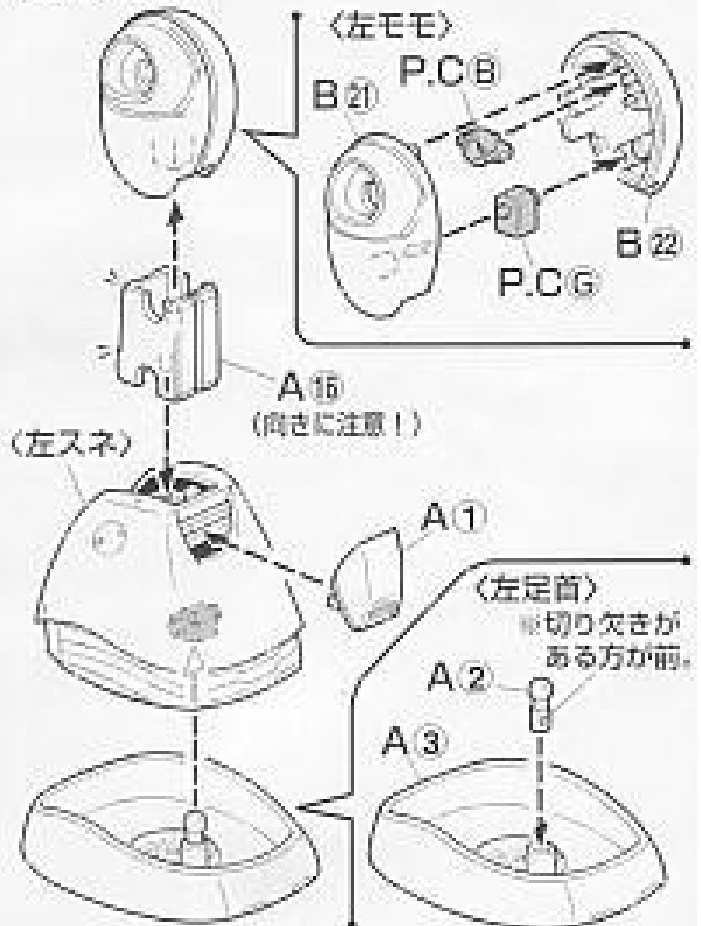
2 (左足の組み立て)



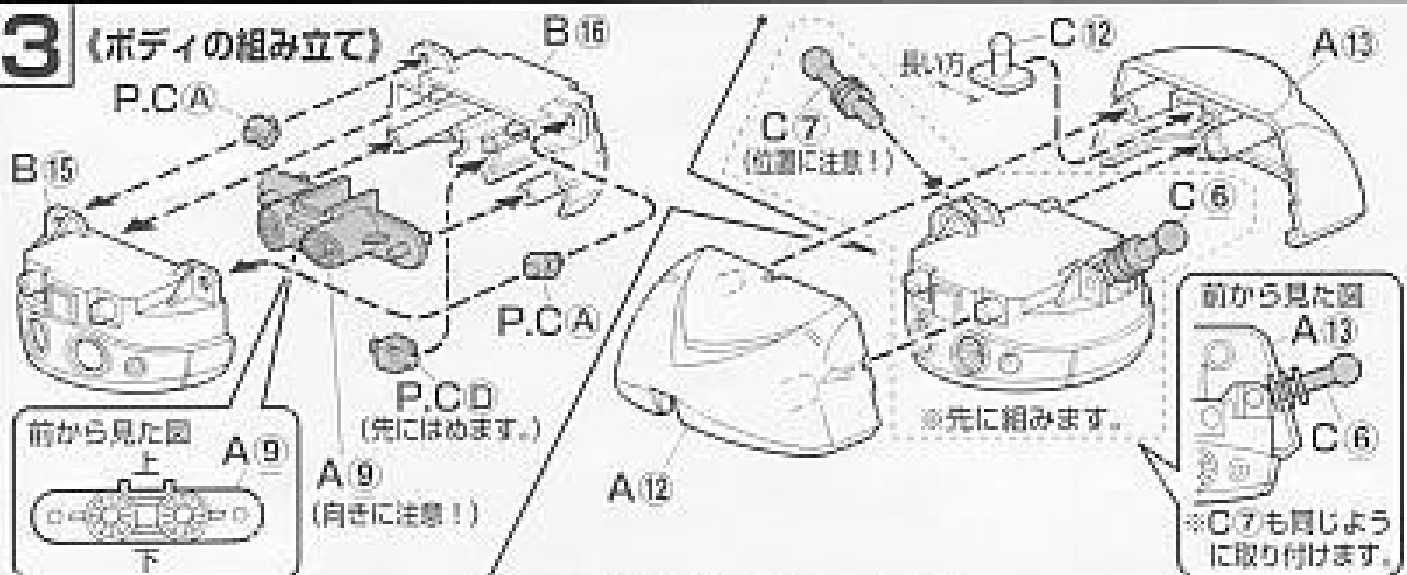
(右足の完成)



(左足の完成)

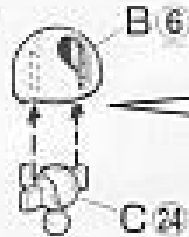


3 (ボディの組み立て)



4 (右腕の組み立て)

(右肩)



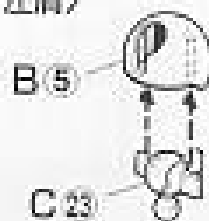
※C(24)は、図のように取り付けます。(上腕も同じように取り付けます。)



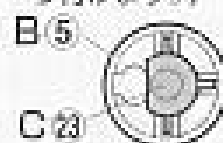
下から見た図

5 (左腕の組み立て)

(左肩)

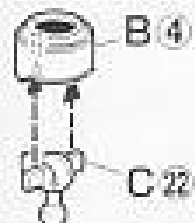


※C(23)は、図のように取り付けます。(上腕も同じように取り付けます。)

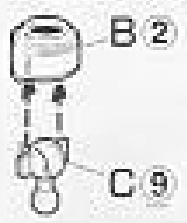


下から見た図

(右上腕・大)



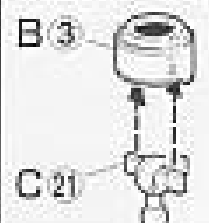
(右上腕・中)



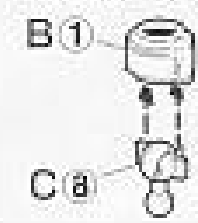
(右上腕・小)



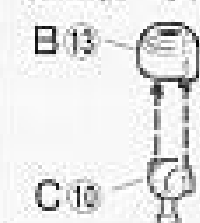
(左上腕・大)



(左上腕・中)



(左上腕・小)



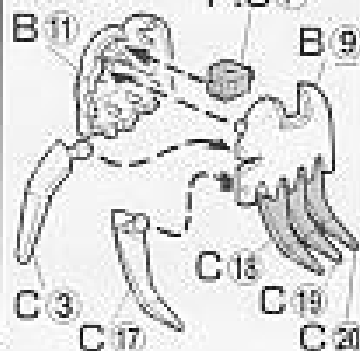
(右前腕)



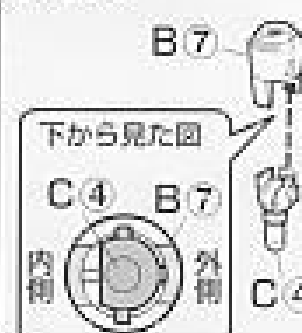
下から見た図



(右手首)



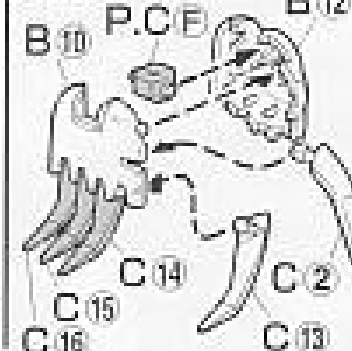
(左前腕)



下から見た図



(左手首)



(右腕の完成)



(前から見た図)

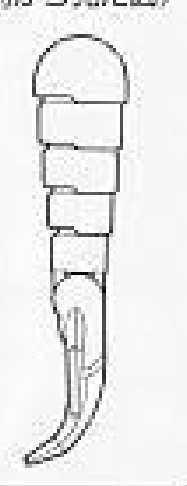


※①～⑥は組み立てる順番です。

(左腕の完成)

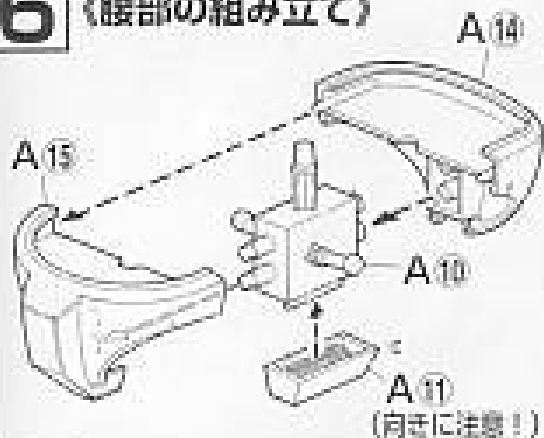


(前から見た図)

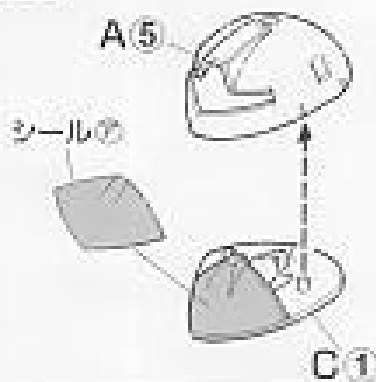


※①～⑥は組み立てる順番です。

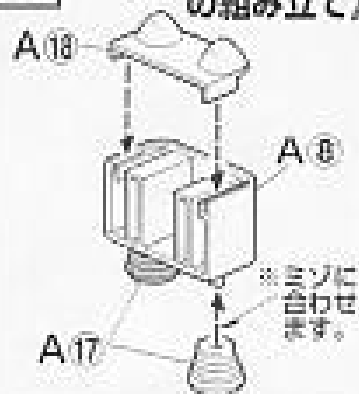
6 《腰部の組み立て》



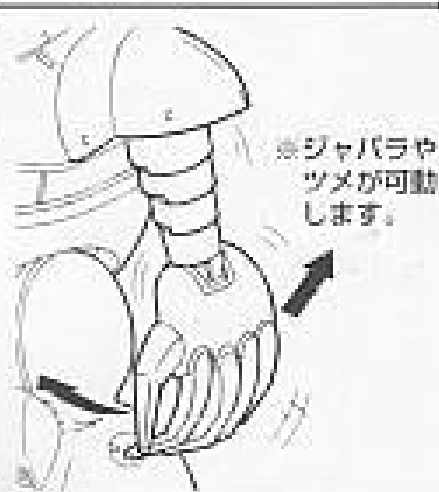
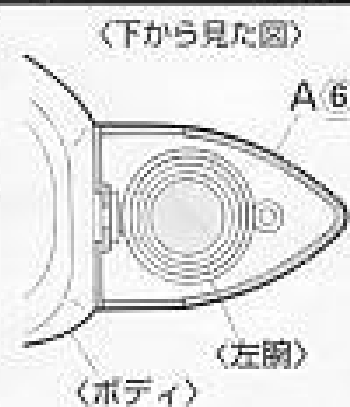
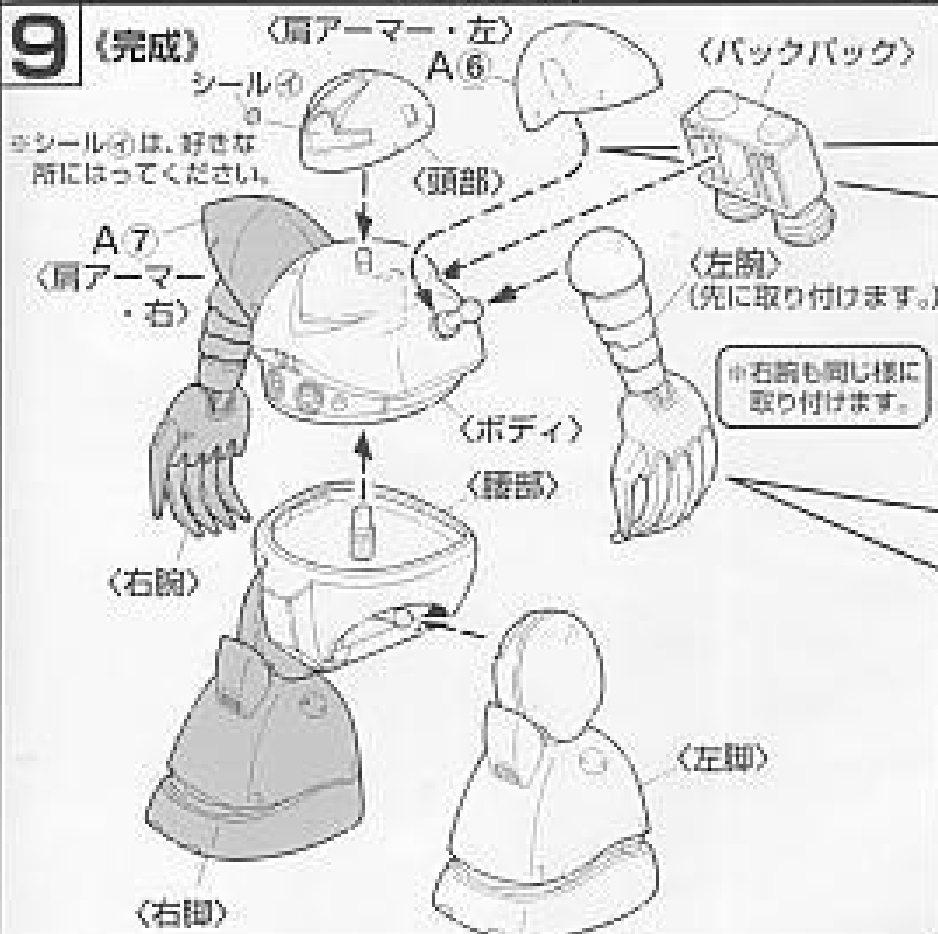
7 《頭部の組み立て》



8 《バックパックの組み立て》

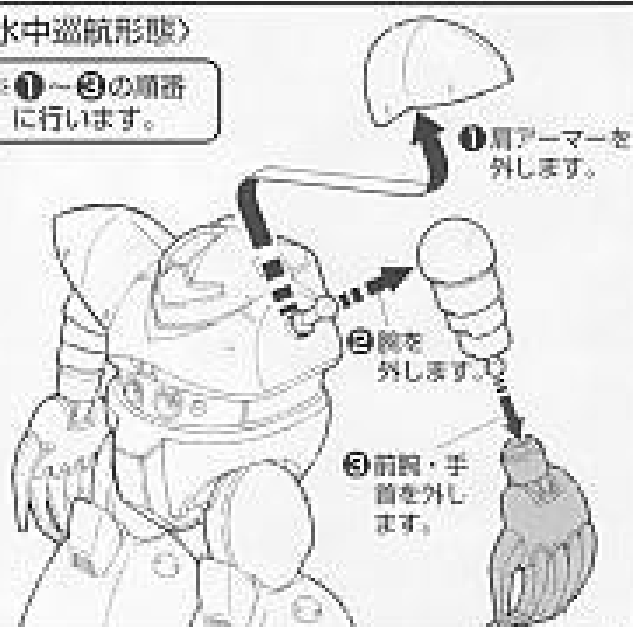


9 《完成》



《水中巡航形態》

※①～④の順番に行います。



※右腕も同じ様に行ないます。

